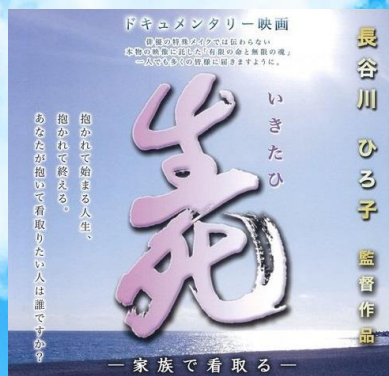


2016年7月22日(金) 18時30分～ 北とぴあ・つつじホール

ドキュメンタリー映画「生死(いきたひ)」上映&講演会

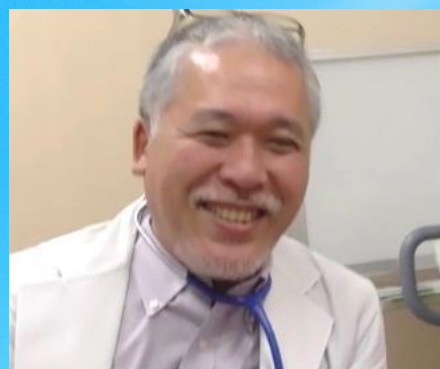
「人生の終(しま)い方」を考える

—魂の看取りと在宅医療



ドキュメンタリー映画
いきたひ(生死)
～家族で看取る

長谷川裕子監督作品



特別講演

17年間の在宅での看取りを
通して見えてきたこと、
伝えたいこと

鈴木央・鈴木内科医院院長

「家族で愛を込めて抱きしめて看取る」

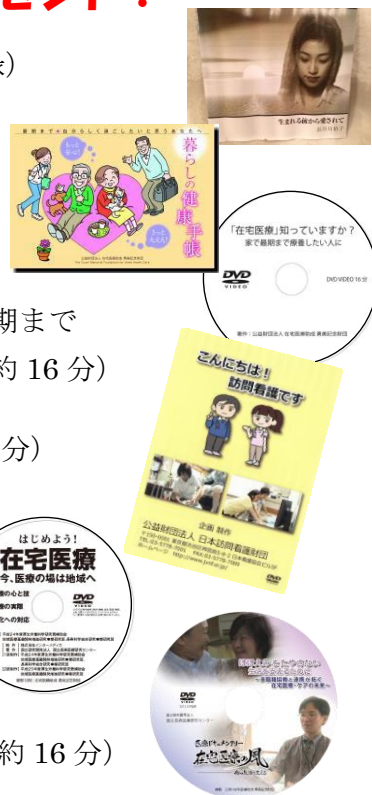
そこで起こる感動と奇跡の記録！

家族を抱きしめて看取った人たちへのインタビュー。そして、夫を自宅で看取った長谷川ひろこ監督の体験談と記録映像を、自らのナレーションと音楽で綴るドキュメンタリー映画。

誰もが母の「胎内」から生まれ出て、例外なく「死ぬ」。生きる者の究極の平等「胎内」と「死」。そこに宇宙の真理がある。

下記の6点を参加者全員にプレゼント！

1. CD「生まれる前から愛されて」(9曲収録)
作詞作曲：長谷川裕子 定価 2500円
2. 小冊子「最期まで自分らしく暮らしたい
と思うあなたへ—暮らしの健康手帳」
3. DVD「在宅医療知っていますか？家で最期まで
療養したい人のために」DVD(約16分)
4. DVD「こんにちは！訪問看護です」(約7分)
5. DVD「はじめよう！在宅医療
今、医療の場は地域へ」(110分)
6. DVD「医療ドキュメンタリー
『在宅医療の風』—命と生活を支える」(約16分)



私、井上祐宏が、近親者を自宅で抱きしめて看取った人たちを描いたドキュメンタリー映画「生死(いきたひ)」に出会ったのは、2015年6月のことでした。

その映画を見た直後、私は「病身の母を抱きしめて看取ろう」と生まれて初めて思えたのです。そして昨年7月と今年5月に映画の上映会を主催しました。

その中で見えてきたこと…

それは映画を見て「愛する人を自宅で看取りたい」と思っても、「どのようにしたら自宅で看取りが可能なのか」全く分からず、ほとんどの人が途方に暮れてしまう現実でした。

ところが、つい最近、在宅医療の実際について数多くの小冊子やDVDを制作し、頒布している公益財団法人勇美記念財団の存在を知りました。そして、同財団の理事であり、日本で最も早く在宅での看取りに取り組まれた鈴木内科医院(大田区)の鈴木央院長との出会いがありました。

そこで今回、「生死(いきたひ)」上映、鈴木央院長の講演、また魂の看取りを体験するワークのコラボレーションイベントを企画しました。

愛する人のやすらかな旅立ちを願う方々、在宅医療に真剣に携わる方々、生きることと死ぬことの真実を探求しようとする勇気ある方々との出会いを願ってやみません。

主催者：子孫へのラブレター協会代表 井上祐宏

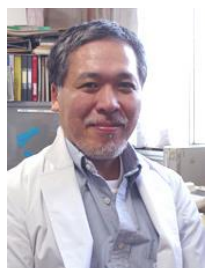
日時：2016年7月22日(金)
18:30～21:30 (18:15開場)

会場：北とぴあ 3階 つつじホール

定員：350名 (定員になり次第締め切りますので、ご希望の方はお早めに！)

入場料：事前振込 3000円
当日 4000円 ※予約で満席の場合は入場できません。

お申込方法とスケジュールは裏面を参照ください。



鈴木央(すずきひろし) 鈴木内科医院院長

1961年東京都生。昭和大学医学部卒。1994年高津中央病院内科医長、1996年社会保険都南病院内科部長を経て、現職。父・鈴木荘一医師が日本に初めて紹介したホスピス、ターミナルケアの概念を引き継ぎ、プライマリ・ケア、在宅ケア、特に在宅緩和ケアを専門としている。東京医科歯科大学臨床教授、東邦大学医学部院外講師、昭和大学客員教授を兼任。城南緩和ケア研究会世話人、日本在宅医学会理事、日本プライマリ・ケア連合学会理事。大田区在宅医療連携推進協議会会長。一般社団法人全国在宅療養支援診療所連絡会副会長。



長谷川裕子(はせがわひろこ) ドキュメンタリー映画「生死(いきたひ)」監督

元地方民放局アナウンサーを経て結婚、4児の母。夫は2009年にガンで亡くなる。それから3年半が過ぎた頃、看取り士・柴田久美子さんと出会った。誰もが生まれる前にいた場所「母の胎内」。人間に与えられた究極の平等。「死と胎内」そこに普遍性を感じカメラを回し始めた。柴田さんの活動、家族を抱いて看取った方々の証言、自分自身の体験を撮影しながら、人を看取ることの意味を問うドキュメンタリー映画「生死(いきたひ)」を2015年4月に完成。その映画の上映&講演活動を全国で展開中。



井上祐宏(いのうえゆうこう) 子孫へのラブレター協会代表

1962年東京生。早稲田大学政経学部卒業後、アメリカ、インドにて精神的探求を重ねる。帰国後、複数の代替医療関係団体の設立・運営を推進。出版&ビジネス・プロデューサーとして活躍。教育、環境、農業、医療などの分野で過激な変革を推進中。2009年より発達障がい改善を目的とした一般社団法人エジソン・アインシュタインスクール協会専務理事に就任。2012年「子孫へのラブレター」のコンセプトを発見。2014年子孫へのラブレター協会を設立。http://loveletter.tv/ 著書に「今日が最期だったら誰に何を伝えますか?」「あなたが抱えている個人的問題が面白いように次々と解決していく」(コスモ21)など。

【主催・お問い合わせ先】子孫へのラブレター協会 http://loveletter.tv/ mail: info@loveletter.tv
TEL: 070-5599-0072 (株式会社 ERC 内) FAX: 03-4579-0321